

(答弁案) 教育長答弁	教育振興部 教育指導課		
佐藤 かずゆき	公 明	個人	1 1

1 (1)

私からは、「非認知能力」を伸ばす取組についてのご質問に順次お答えいたします。

はじめに、人権教育・道徳教育の効果判断についてです。人権教育や道徳教育については、各学校において、人権教育全体計画、道徳教育全体計画を立案し、年間指導計画を作成の上、全教育活動を通じて、児童・生徒の発達の段階を考慮し、意図的・計画的に指導を行っており、こうした指導が適切に行われたかどうかについては学校評価等において効果検証し、内容改善を図っています。

また、学校の教育活動において培われる人権意識や道徳性などの人間性については、観点別評価や数値化はなじまないことから、教師が児童・生徒の日々の様子、発言や感想文、質問紙等の記述等を通じて、個人の変容状況を確認し、判断しています。

(答弁案) 教育長答弁	教育振興部 教育指導課		
佐藤 かずゆき	公 明	個人	1 1

1 (2) (3)

次に、非認知能力の向上に取り組む必要性と、人生100年時代に必要な生活スキルについてです。

学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、児童・生徒に育成すべき資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理しています。非認知能力は、この育成すべき資質・能力の一つである「学びに向かう力、人間性等」にあてはまるものと認識しています。

協調性や粘り強さをはじめ、自制心、コミュニケーションなどの非認知能力は、教育を通して育成する将来の人格形成等、児童・生徒の現在や将来の生き方に大きな影響を与えるものであり、全教育活動を通じて指導し、育成する必要があると考えます。

また、人生100年時代において、幸福感のある豊かな生活につなげよりよく生きるためにも、こうした非認知能力を幼少期から培っていく必要があると考えています。

(答弁案) 教育長答弁	教育振興部	教育指導課・学校支援課	
佐藤 かずゆき	公 明	個人	1 1

## 2 (1) (2)

次に、部活動の地域連携・地域移行についてのご質問にお答えします。

はじめに、部活動指導員等の拡充状況及び目標とする人数についてです。

部活動指導員については、各校で求める部活動の種目に合致する指導員の人材確保が難しく、配置できていない学校があるのが現状です。まずは、区立中学校全校に1名の配置を確実に進めてまいります。

また、顧問教員の指導を補助する有償ボランティアである部活動指導補助員については、各中学校の生徒数に応じた配置経費を配当しており、配置する部活動や配置人数は各学校が決定しています。

来年度も引き続き部活動指導における教員の負担軽減を図るため、部活動指導員12名体制の確保を図り、部活動指導補助員の配置を継続することとあわせて、部活動の地域連携や地域移行の進捗を踏まえた拡充について検討してまいります。

## 2 (3)

次に、部活動指導員等の任用前後における取組についてです。

部活動指導員及び部活動指導補助員に対しては、部活動の意義をはじめ、体罰やハラスメントの禁止などを含めた「生徒を励まし、やる気を引き出す方法」や「部活動指導でのストレスの対処力向上」などに関する研修を実施しています。

今後とも、生徒の心身の健全な育成や豊かな人間形成を図る上で重要な役割を果たす部活動の意義を、部活動指導員等が認識して日々の部活動指導に当たれるよう、研修の充実に努めてまいります。

(答弁案) 教育長答弁	教育振興部	教育政策課	
佐藤 かずゆき	公 明	個人	1 1

4 (4) (5)

次に、部活動の地域連携や地域移行の推進にあたっての区の考えについてです。

部活動の地域連携等の推進に関する 区の方角性といたしましては、東京都の「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」の目標である「令和7年度末までに、休日の学校部活動の段階的な地域連携や、地域クラブ活動の実施に向けた取組の実現」に沿った形で、取組みを進めていく必要があると考えています。そのため、新年度からの「関係団体等を交えた協議会の設置・運営」や「区の推進計画の検討」に向け、区長部局を含めた関係部課と情報共有を図りながら検討を進めています。

次に、保護者負担が増える場合の補助についてです。地域クラブ活動への参加により、会費や保険などの新たな費用負担が生じる可能性も想定されることから、今後の「関係団体等を交えた協議会」や「区の推進計画の検討」のなかで、他自治体の動向なども勘案しながら、対

象範囲や費用負担割合などの考え方について、整理、検討してまいります。

(答弁案) 教育長答弁	教育振興部	中央図書館
佐藤 かずゆき	公 明	個人 1 1

### 3 (1)

次に、区立図書館の環境整備についてのご質問にお答えします。はじめに、図書館の学習優先席や図書館外の近隣ふれあい館等への自習室の設置についてです。

図書館の閲覧席は、図書館内の資料を利用する方のために設置しているものであり、図書館資料を利用しない自習での席の利用は、図書館の本質的な機能ではないとの考え方が公立図書館ガイドラインに示されています。

しかしながら、静かな環境下にある図書館の閲覧室を学生等が自らの学習に活用したいというニーズは一定程度あることから、中央図書館においては、研究個室を設置したり、学校の長期休業期間中における臨時学習室の開設などにより対応しています。

他の区立図書館においては、図書館の規模や閲覧室の広さも様々であるため、中央図書館と同様の対応を行うことは難しい状況ですが、図書館資料を閲覧する方と自習をされる方の双方が気持ちよく閲覧室を活用できるよう、各館において丁寧な周知を行ってまいります。

(答弁案) 教育長答弁	教育振興部	中央図書館	
佐藤 かずゆき	公 明	個人	1 1

なお、地域振興室会議室やふれあい館については、それぞれの施設の利用目的に沿って運営されるものと認識しています。



(答弁案) 教育長答弁	教育振興部	中央図書館	
佐藤 かずゆき	公 明	個人	1 1

### 3 (2) ア、イ

次に、トイレの洋式化等の改修及び Wi-Fi 環境の整備についてです。

トイレの洋式化等の改修工事については、これまで、庁舎や区民施設等において進められており、社会環境等の変化の中でその必要性は高いものと認識しています。

ご指摘の4つの地区図書館は、施設が区分所有の建物内にあるため改修工事に管理組合等の許可が必要になる施設、あるいは、今後、移転等が計画されている施設であり、改修等については、区長部局と協議したうえで、今後の対応を検討してまいりたいと考えています。

また、中央図書館以外の区立図書館における Wi-Fi 環境の整備については、昨今のデジタル社会を踏まえれば、その必要性は高いものと考えますので、区民施設を含めた区有施設全体の整備の中で、区長部局と検討してまいります。

(答弁案)	危機管理室 防災・危機管理課		
佐藤 かずゆき	公 明	個人	11

4 (1)

次に、区内の防災・防犯対策のご質問のうち、感震ブレーカーの配布拡充についてお答えいたします。

区では、不燃化特区内の木造住宅を対象に、区で購入した2,500個の感震ブレーカーを平成29年度から希望する方に配布しており、660個が在庫として残っている状況です。

また、東京都が木造住宅密集地域に配付予定の感震ブレーカーは、ご指摘のとおり、特定の機器の電流を遮断するタイプであり、区で購入した住戸全体を遮断するものとは異なっていることは承知しています。

区といたしましては、引き続き、区購入分の希望者への配布を行うとともに、東京都の配付事業の申し込みが年内までとなっていることから、その結果を確認したうえで、今後の事業のあり方を研究してまいります。

(答弁案)	土木部 道路公園課		
佐藤 かずゆき	公 明	個人	11

#### 4 (2)

次に、蓄電型LED街路灯の設置についてお答えします。

北区では、環境負荷の軽減を図るとともに道路を安全で安心して通行できるように、街路灯のLED化を推進しており、令和6年度ですべてのLED化が完了する予定です。

しかし、今後もまちの安全性を確保するためには、当初設置したランプ切れ等の不具合のある街路灯への迅速な対応が求められます。

また、蓄電池内蔵型の街路灯は、大規模停電での有効な機器のひとつであると考えますが、他自治体でも事例は少なく、価格や安定的な維持管理が確立されておられません。

区といたしましては、蓄電池の定期点検や寿命などのライフサイクルコストを含めた維持管理上の課題や駅前広場等の有効な場所の選定など、先進自治体を参考に、設置の可能性について調査・研究してまいります。

## 4 (3)

次に、スマート街路灯の設置についてです。

街路の照明に加え、W i - F i 機能や平常時でもデジタルサイネージとして活用可能な機能が付く、スマート街路灯は、地域社会全体でのデジタル化が進む中、有効に活用することが期待される施設です。

しかし、新たな技術であるため、実証・実験が進められておりますが、道路上の課題もあることから、先進自治体の動向を注視し、北区にふさわしいスマート街路灯の調査・研究をしてまいります。

(答弁案)	土木部	交通事業担当課	
佐藤 かずゆき	公 明	個人	1 1

5 (1) イ

私からは、引き続き、参考とする他自治体の先行事例についてお答えいたします。

デマンド交通は、各自治体において運行形態やシステムなど、地域の実情に応じた運行計画を策定しているため、特徴や長所などを参考として、幅広く情報収集に努めてまいります。